

令和5年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会
【建設環境常任委員会 委員長報告】

議案第23号及び議案第24号について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第23号 令和4年度筑紫野市水道事業会計補正予算(第3号)』の件について、ご報告いたします。

本件は、事業費確定による補正予算で、収益的収入を3,000万円増額し、収益的支出を500万円減額するものです。また、資本的収入を3,311万5,000円減額し、資本的支出を4,900万円減額するものです。

委員会では、収益的支出について、委託料を減額しているが、物価高騰で人件費や材料費を引き上げなければならない状況を踏まえたものとなっているかとの質疑があり、執行部からは、積算については労務単価と併せて経費の上昇分を加味したうえで行っているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第24号 令和4年度筑紫野市下水道事業会計補正予算（第3号）』の件について、ご報告いたします。

本件は、事業費確定による補正予算で、収益的収入を6,290万円増額し、収益的支出を600万円増額するものです。また、資本的収入を1億4,470万1,000円減額し、資本的支出を1億2,170万円減額するものです。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和5年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会
【建設環境常任委員会 委員長報告】

『議案第31号 令和5年度筑紫野市農業集落排水事業特別会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、主に処理区の維持管理と借入金の償還に関するものでございます。

委員会では、一般会計の繰入金の根拠はとの質疑があり、執行部からは、農業集落排水施設使用料のみの収入をもって経営を賄うのが困難であるためとの答弁がありました。

また、農業集落排水の公共下水道への接続について、将来的な計画はどうなっているかとの質疑があり、執行部からは、現在、一部の区域において、令和5年度中に下水道区域に変更できるよう手続きを進めているところであるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和5年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会
【建設環境常任委員会 委員長報告】

議案第35号及び議案第36号について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第35号 令和5年度筑紫野市水道事業会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、筑紫野市の水道供給に関するものです。

委員会では、マンション建設が進んでいるが将来に向けて安定した水の供給ができていくのかとの質疑があり、執行部からは、災害や天候不良による事態に備えることも含め、本市の自己水源以外にも福岡地区水道企業団や山神水道企業団からの供給を調整しているため、現在のところ十分な水量の確保はできているとの答弁がありました。

また、一委員から改良工事の今後の計画についての質疑があり、執行部からは、40年以上経過した老朽管を対象にし、特に避難所や学校、病院などを優先して更新を行っていくとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第36号 令和5年度筑紫野市下水道事業会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、筑紫野市の下水道事業の運営に関するものです。

委員会では、ストックマネジメント計画によるマンホール蓋の取替に基準があるのかとの質疑があり、執行部からは、本市のマンホール蓋の取替は、荷重の基準に達していない箇所について古いものから順次取替えていくとの答弁がありました。

また、通信通報装置の通報内容についての質疑があり、執行部からは、市内16箇所のマンホールポンプの故障や落雷によりポンプが稼働しなくなると汚水があふれるような事故につながるため、機械の不具合が発生した時に通報が入るシステムであるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和5年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会
【建設環境常任委員会 委員長報告】

『請願第1号 国道3号バイパストンネルの道路整備等に関する請願』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

委員会では、本件に関して紹介議員である前田議員から、国道3号バイパストンネルは、地域の生活道路として、また児童・生徒の通学路として利用されているが、交通量が多く大変危険であることや、過去に整備の計画があったが事業中止に至った経緯などの説明を受けました。

これについて、一委員からこの請願を採択し、これから新たなスタートを切るべきとの意見が出されました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和5年 第1回(3月) 筑紫野市議会定例会
【建設環境常任委員会 委員長報告】

『請願第2号 地域経済活性化施策の充実・強化に関する請願』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

委員会では、本件に関して紹介議員である赤司議員から、世界情勢の変化による物価高騰などにより日本経済の厳しさから、この筑紫野市においても地域経済が疲弊しており、総合的なまちづくりを行い、市民、行政、事業者による協力のもと、農業や観光業などの活性化施策を推進していくべきであるとの説明を受けました。

意見、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。